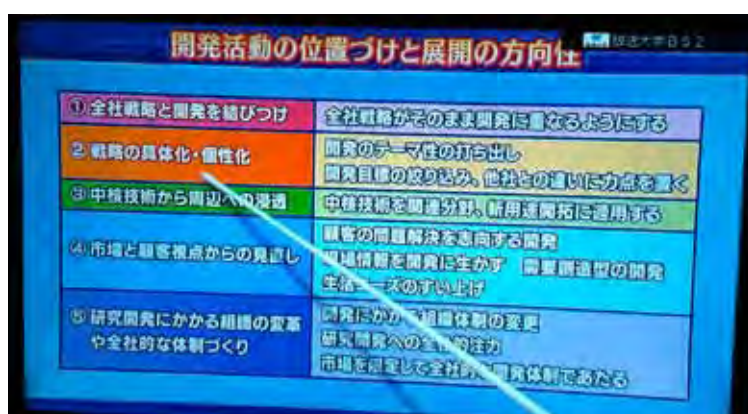


今月のコラム

おもしろくて止まらない…?!

(有)角田ナーセリー 角田ミサ子



NHKのETV「商品開発」から



天使のいちご

「まちかど情報室」を見続けていると、微に入り細に入り、こんなニーズもあったのか〜とわくわくしてしまう商品が出てくる。で思わずネットで販売先を探り「水に浮かぶ…」やら「千切りがかんたん…」を購入してしまうのだが、ここは感心してばかりいる場合ではないぞ、「うちもプチでいいからニーズを捉えて開発しよう」と思うようになってくる。

5年前、息子に経営交替してから楽しんでいる“商品開発”は家庭園芸かじって40年の基盤に情報収集を絡め、既存の商品を消費者目線で確認したり、商品企画はもちろん、育種もあり、採種もあり、とかつてに幅を広げてきた。ところがどっこい、養ってある資力・体力では当然のストッパーがかかる。置かれている園芸業界の環境と自社の体力を秤に掛ければしかたないのだが、そこは隙間狙いの根性が頭をもたげてきて次々と突破口が見えてしまう。

白いいちご「天使のいちご」のアイデアもそんな次第でひょんと生まれてきた。

もと営業の一人が「いちごだったら“紅ほっぺ”が売りたいよ」と言いなり、「自社の“お弁当いちご”の方が作りやすく四季成りで家庭菜園にあってるよ」と言っても譲いてくれない悔しさで、ならいっそ文句なしのいちごを作ってやる…と怖さ知らずでイチゴの育種を始めた。もちろん県の試験場リタイア先生の力を借りてだが。

しかしやり始めて情報が入るほど、果てしなく生まれてくる各県の赤いいちごの品種には勝てんと思い知り、作業はしながらも悩みは多かった。そこで思い出したのが市場で見た¥15,750「初恋の香り」だ。何もみんなが思い込んで「赤くなきゃいちごじゃない」は無いし、紅白のいちごがケーキにのつたらどんなにかわいいか!

ここから畑にのめり込んでしまった。もちろん家庭菜園をターゲットに露地で、できるだけ無農薬で、を实践したいので草取りにも奮闘しながら。で生まれたのが「天使のいちご」である。

これからも、目でも耳でも舌でも何でも良い、“触れた情報にピツと感じたら消費が動く”を实践していきたい。「かわい〜い!」「甘〜い!」「旨〜い!」がけっこう大きいテーマの今の日本、家庭園芸の業界だってもっと追求しなきゃ。



カエデ
kaede



第5回東日本大震災被災地小学校支援報告

平成 25 年 6 月 13 日

NPO法人ガーデンを考える会では、東日本大震災地域の小学校に対する支援活動を継続的に行っており、6月の6～7日に岩手県釜石市の小学校5校及び宮城県気仙沼市の小学校12校に、5回目の支援活動を行いました。

今回は気仙沼市の小学校8校を訪問し、その内の4校は授業活動として、会員有志11名とボランティア4名の合計15名と共に、花苗や野菜苗等の植え込みを行いました。その他の気仙沼市と釜石市の小学校には、花苗や植え込み資材の提供をいたしました。

内容としましては、秋までを彩る花苗として約2,700ポット、緑のカーテン用のゴーヤや、トマトを主とした夏野菜の苗を約700ポット、それを植え込むコンテナや培用土及び肥料等、またそれらを購入する資金を、会及び会員メンバーから提供を受け実施しました。

6月7日の当日は2班に分かれ、小原小学校・白山小学校・鹿折小学校・九条小学校・落合小学校・新城小学校・松岩小学校・面瀬小学校を訪れ、1年生から6年生までの多くの児童と一緒に植え込み活動を行いました。その内の小原小学校では、隣接の仮設住宅の皆さんも交え、校庭の花壇の植え込みや野菜の植え込みを行いました。

また、鹿折小学校では昨春に引き続いてゴーヤを用いて、約10m幅の緑のカーテンを児童と共に作りました。作業を行っている最中には、昨年植え込み活動をした児童達から声を掛けられ、「去年は1000個以上採れたよ」とか、「お家で料理して食べたよ、でも一緒に入っていたウインナーの方がおいしかったよ」とか、皆がこの植え込み活動を良く覚えていてくれ、継続的に活動する重要性を改めて感じました。

それ以外の小学校では、事前に送る事が出来なかった物資をお届けし、先生達からの今後の支援活動への要望事項等をお聞きしました。

震災から2年以上たち、ともすればあの災害が人々の心から風化されていくような感もありますが、現地に行ってみると瓦礫は片付いているものの、改めて被害の甚大さを実感する風景が延々と続いています。このような状況の中で、我々園芸関係者が出来ることは限られていますが、花や緑をもって出来る事は少なからずあると思っています。

ガーデンを考える会では継続的な支援活動として、今秋の10月中ごろにも6回目の支援活動を予定しています。ぜひ多くの皆様が、これらの活動に賛同し参加して頂けるように願っています。

NPO法人ガーデンを考える会 会長 水野 隆



■今回特別に支援活動に協賛いただいた会員の皆様

アップルウエアー (株)、キムラグリーン(株)、(株)シモジマ、セキスイエクステリア、(有)角田ナーセリー、豊明花き(株)、中島商事(株)、日本ポリ鉢販売(株)、(株)ハイポネックスジャパン、(株)ハクサン、(株)花ごころ、ハクサンインターナショナル(株)、北越農事(株)、(株)牧野、(株)ユニソフ、(有)緑花技研、(株)レイハウス

ガーデンを考える会総会

各地区での活動を活発に

NPO法人ガーデンを考える会(水野 隆会長)は、6月11日午後、東京青山のユニマツビル6階において、平成25年度通常総会を開催した。

水野会長および環境省自然環境局・坂本真一氏の来賓あいさつ、25年度役員紹介ののち、東日本大震災支援活動に協力した企業13社に感謝状が贈呈された。

25年度事業では前年同様、八ヶ岳山麓での商談会(ガーデントライアル フィオーレ会場)、震災支援活動の継続とともに、新たにインターネットを活用した「net情報交換室」を立ち上げ、さらなる会員の交流を深めることになった。また、全国を3つのブロックに分け、会員同士が意見交換を行う場を設けることにより、会の活動をより活発化させていくことになった。



東日本大震災支援活動に協力企業に感謝状を贈呈。
(株)牧野の牧野行雄社長(左)に水野会長が贈呈



カエデ
kaede

お国柄ありて庭はたのし 普通の植物を使って作る「異国風」のヒント満載 ～ホテルオークラ「10カ国大使夫人のガーデニング」～

ゴールデンウィークの5月1～5日、ホテルオークラ東京(東京中央区)で「第13回10カ国大使夫人のガーデニング in Okura」が開催された。来場者は5日で2万294人。

駐日大使夫人と、神戸国際大学教授でランドスケープデザイナーの白砂伸夫氏が直接打ち合わせ、1人1人のアイデアをスケッチ画に起こし、ホテル最大の宴会場「平安の間」の中に10の庭を作りあげる。2011年を除き、2000年から毎年開催。



英国の庭では、木々の赤、斑入り葉の青を背景に、つるバラのパステル、イングリッシュローズの紅白。色が輝いた。



ベルギー大使夫人のコニファーつきブロックポタジェのホワイトガーデンでは、暗い木立を背に、スポットをあてられたトピアリーや花や葉が静かに光った。

Summer Garden 夏花フェスタ～ペチュニアコレクション～ サンシャインシティで7社が出展

消費者に夏の草花の多様性を知ってもらいガーデニングの楽しみを広げようと、昨年からはまった「Summer Garden 夏花フェスタ～ペチュニアコレクション～」が5月30日から6月2日までサンシャインシティ展示ホールで開催され、前年を4%上回る9956人の来場者でにぎわった。サンシャインシティ35周年企画「サンシャインシティは花ざかり! 2013」の第7弾として開催されたもの。

昨年出展のサントリーフラワーズ、サカタのタネ、M&B フローラ、ゲブラナガトヨ、第一園芸に加え、タキイ種苗、ハクサンの手7種苗が展示した。



各社自慢のペチュニアを中心に華やかな会場。苗の販売もおこなれた



「サンパラソル」でパラソルを作って楽しみ方を提案 ▶

世界に誇る江戸の園芸文化を紹介

江戸東京博物館で7月30日～9月1日まで開催

「花開く 江戸の園芸」が東京都江戸東京博物館(東京都墨田区)において、7月30日～9月1日まで開催される。会館20周年特別展示として開かれるもの。

泰平の世が続く江戸時代に、大名から町人まで幅広い階層の人びとが、身分の垣根を越えて草花の栽培に喜びを見だし、鉢植えの草花を持ち寄ってその美しさや珍しさを競い合う独自の園芸文化が展開していたことを紹介する。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 序章 プラントハンターの驚き | 3章 武士の愛した不思議な植物たち |
| 1章 花と緑の行楽文化 | 4章 江戸園芸三花—花菖蒲・朝顔・菊— |
| 2章 植木鉢の普及と高まる園芸熱 | 終章 江戸園芸の明治維新 |

展示会公式サイト <http://www.edo-engei.jp>



「四季花くらべの内 秋」



「小不老草名寄」



カエデ
kaede

2013 7 JUL. Vol.73

NPO法人ガーデンを考える会 会報



『ガーデンファーム』をイオンタウン屋上で展開

『うちの子供はピーマン食べられなかったのに、ここで穫れたものは食べたのよ！』菜園利用者のメンバーである女性は、トマト、ナス、ピーマンなどを両手に抱えながら、とても嬉しそうに話しかけてくれました。

私達、(株)プラネットは今年の4月からイオンタウン新船橋の屋上で『ガーデンファーム』という名で、貸し菜園を運営しております。

また、食育の場としても有効に活用されており、お子様連れの母親の姿が目立ちます。菜園を始めた理由を尋ねると、『子供にお野菜の実が成るところを見せたいんですよ』とお子様への愛情いっぱいに語ってくれました。また、定年を過ぎた高齢の利用者様は『孫と一緒に収穫しに来ますね』とワクワクした笑顔を向けてくれました。この菜園は、ご家族のコミュニケーションの場としても一助しているようです。

ここは無農薬にこだわり、美味しい野菜作りをお客様に楽しんでもらうことを基本としています。スーパーに行けば安い野菜は沢山ありますが、自分で作る、手間のかけた野菜は安全安心、一番美味しいものです。

現在、菜園には約120名の利用者様がいらっしやいて、スタッフは1人1人に丁寧なアドバイスをし、一緒に考え、収穫までのお手伝いをさせて頂いております。

菜園には沢山の区画があるため、1人でせっせと野菜作りをする方や、利用者同士でお互いの成長ぶりを観察している方も。驚いたり、笑ったりと会話も生まれます。

小さなスペースですので、畑と比べて細かいところまで手を掛けやすいですし、必要な量だけの水分をコントロールする自動給水装置付きのコンテナとフカフカのオーガニック培養土で、お手入れが簡単です。

さらに、無料の道具貸し出しも行っておりまして、スコップやジョウロなど基本的なもののから、天然素材のスプレーまで何でも用意しています。

利用者様は手ぶらでOKです。スーツでも、ドレスでも汚れる心配はありません。

高さもあり、腰を痛めないこと、車椅子でも利用できること、仕事帰りに少ししか寄れない、忙しい方でも育てられるのが特徴です。

『ガーデンファーム』へ笑顔を咲かせに来ませんか？



株式会社プラネット
伊藤洋介



イオンタウン新船橋の屋上で始まった『ガーデンファーム』



壁面緑化も野菜などを生産



会員紹介

(株)ナカヤマ

企画から製造までの一貫システムで花ラベル、スリーブをはじめシール、ステッカー、切り花用スリーブ、ガーベラキャップ、SUNNY BEEシリーズ、仏花、鉢用、TF仏花、野菜包装用鮮度保持防曇フィルム、ナカクリーン®をデザイン性、作業効率、鮮度保持等、あらゆるシーンでお客様のニーズにお応え、ご提案いたします。お客様のオリジナル商品は勿論、多数規格商品もご用意しております。お気軽に担当営業までお問い合わせ下さい。



フラッシュ用製品総合



フッター▶

ラベル事業部、3課

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町島田535-1

TEL 0573-22-9000 FAX 0573-26-4057

担当 細江

化成事業部 2課

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町614-2

TEL 0573-25-6550 FAX 0573-25-6371

担当 西尾 磯村

<http://www.net-nakayama.co.jp/>